



参加しよう!

2019年3月4日
生活クラブ茨城環境委員会
本部 Tel 029-874-8510

GMナタネ調査ツアー@鹿島

2019年4月2日(火)



集合場所 牛久センター 9時 (牛久市猪子町 992-676)
水戸センター 9時 (水戸市元石川町 302-12)

参加費 無料 ※昼食代は自己負担です

日程 各センター9:10 出発 ~ 調査しながら鹿島へ 向う ~ 12:30 港公園到着 ~ 周辺を調査
13:00~ 昼食、昼食会場にて採取したナタネを検査、その場で判定します。
14:15 鹿島を出発 ~ 15:30 各センター到着、解散 ※時間はあくまでも目安です

申し込み先 牛久センター 029-872-7521
水戸センター 029-291-8280
取手センター 0297-86-6800

インターネットでの
お申込みはこちら→



締切り：2019年3月22日まで

●GM(遺伝子組み換え)ナタネ自生調査活動について●

私たち生活クラブでは、安全・健康・環境をテーマに、共同購入運動を通して持続可能な社会を作るために活動を行っています。遺伝子組み換え作物が開発され日本に輸入され始めた時より、食品としての危険性、毒性の強い農薬使用が前提となる農業のあり方、開発企業による種子の独占、遺伝子汚染による従来の農業や環境への被害などを問題視してきました。そして、提携生産者と協力して取り扱う消費材や飼料から、遺伝子組み換え原材料を取り除く対策をしています。

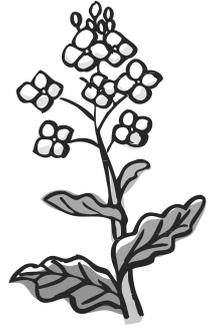
また毎年組合員による自主的な活動で、身近なエリアと鹿島港周辺のこぼれ落ちによるGMナタネの自生がないか調査活動を行っています。昨年は鹿島近くの道路沿いのナタネとこぼれダイズから遺伝子組み換え反応が出ました。今年も組合員はもちろんのこと、一般の人も対象に参加者を募集します！ぜひお知り合いに声をかけて、一緒に参加しませんか。

検査活動の様子



1、GMナタネ自生調査って何??

GMナタネの輸入港や身近な幹線道路などで、輸送トラックよりこぼれ落ちたGMナタネが自生して広がっていないか、または周囲が遺伝子汚染されていないかを調べる活動です。まずは道路沿いに咲いているセイヨウナタネを探して採取します。それを簡易検査キットを使ってGMかどうか検査し判定します。



2、GMナタネって何??

GMとは遺伝子組み換え技術のことで、従来の品種改良とは全く違い、種の壁を越えて人為的に遺伝子を埋め込み、自然には誕生しない生物を作り出す技術です。未知のアレルギーの危険性、動物実験による重度の健康被害が多く報告されています。

GMナタネとは遺伝子組み換えされた除草剤耐性を持つナタネのことで、強い除草剤をかけても枯れない特性があります。近年除草剤に耐性を持つスーパー雑草の出現が増え、農薬の使用量が増え、毒性の強い農薬に切り替えるなど、GM作物の農薬残留が問題になっています。

3、なぜGMナタネを調べる必要があるの??

日本は世界最大級のGM作物輸入国です。ナタネの輸入量は、年間およそ 207 万トン。生活クラブ組合員や市民の調査活動により、輸入されたGMナタネが輸送中にこぼれ落ちて自生していることが判明、年々拡大していることが分かっています。ナタネは、風や虫を介して広い範囲で交雑します。このままGMナタネの自生を放置しておけば遺伝子汚染がさらに拡大し、自然環境や農業に対する深刻な悪影響が懸念されます。同じアブラナ科の植物や作物にも汚染が広がる危険性があります。

4、GMナタネ自生調査のもうひとつの目的

GMナタネの汚染(交雑)拡大をくい止め、カルタヘナ国内法を整備する！GM食品の表示を！

遺伝子組み換え作物の使用を規制し、生物多様性への影響を防止するために設定されている「カルタヘナ国内法」は、一般農作物や昆虫、鳥や動物、人の健康は対象外で、墓衣装責任についての法的整備はありません。これからも汚染状況を調べ広く伝えていくことで、行政や関係業者に対策を求め、GM汚染による賠償の法的整備を働きかけます。

また日本のGM食品の表示義務は一部の食品に限られています。消費者はGM食品かどうか知ることができません。GM食品の全面的な表示義務の実現を目指します。

遺伝子組み換えナタネはこの種類！

